



太工通信

令和3年度 第9号

第103回全国高校野球群馬大会ガイド

武藤 将充監督

人数が少ない分、一人当たりの練習量を多くすることができ、全体の技術が上がっている。選手を信じて、最後まで全力を尽くしたい。

山本 隆仁主将

ムードメーカーが多く、ユニフォームの色の様に黄色く輝いているチーム。秋、春と悔しい結果だったので、一戦ずつ集中して勝ちたい。

太田工
(太田市茂木町)

経験豊富 一戦に全力



昨夏から活躍する経験豊富な選手がそろそろ。秋にサヨナラ負けを喫した悔しさを胸に、守備からリズムを作って一戦必勝で戦う。

投

昨夏背番号1を付けた下手投げの山本が主戦。秋のプランクを乗り越え、冬で制球力を身に付けた。浮き上がるような軌道と変化球で打ち取る。上手投げの飯塚は冷静さが光る。秋には延長10回まで無失点と好投。安定したフォームから繰り出す球威ある直球で三振を狙う。

攻

秋にあと一本が出ず負けた悔しさをばねに、冬に打撃を強化した。俊足でパンチ力のある1番関田純が起爆点。小技の精度を向上させた2番関田悠がチャンスを作り、広角に打ち分ける3番長谷川と、パワーヒッターの4番山岸で得点を重ねたい。下位打線が爆発すれば、大量得点も狙える。地道な自主練で技術を磨いた五箇の一発にも期待できる。

守

内野の連係が鍵になりそう。二遊間は守備範囲の広い関田純と2年生福田が組み、リズムをもたらす。野球偏差値の高い中堅長谷川が声でまとめ、成長株の三景松崎、安定したキャッチングが光る捕手山岸が支える。

創部	1962年	部員	20人
▽部長	荻原 正次 (57)	部員	20人
▽監督	武藤 将充 (33)	学年	
▽選手			
投手	○山本 隆仁 (3)		
	森尻 大輔 (1)		
	山上 真人 (1)		
捕手	○山岸 龍二 (3)		
	亀山 凌雅 (1)		
内野	五箇 勇哉 (3)		
	福田 有哉 (2)		
	松崎 蓮 (3)		
	関田 純大 (3)		
	今井 奨馬 (2)		
	小倉 大和 (1)		
外野	○関田 克寿 (1)		
	長谷川 知輝 (3)		
	飯塚 隼大 (3)		
	住谷 大嘉 (3)		
	黒沢 克徳 (1)		
	関口 義則 (1)		
	吉次 快晟 (1)		

(○は主将)